

## 避難所運営訓練を実施

浜松市中区の泉自主防災隊は、避難所に指定されている泉小学校で「避難所運営組織づくり」と「避難所生活」をテーマに、2月8日(日)、約500人の住民が参加し、東海地震を想定した地域防災訓練を行なった。また、避難所が同じ和合町自主防災隊の役員も参加し、訓練に協力した。

訓練では、高齢者世帯や町内のグループホームの安否を確認し、公民館や空き地などに集合後、集団で避難を開始し、避難所となる泉小学校のグラウンドに集合した。

避難所となる体育館には、応急危険度判定しによる建物の安全確認の後、被災者に見立てた約300人が入り、早速、自治会単位に「居住組」10組が編成された。また、居住組から100人を選出し、総務班・被災者管理班・情報班・食料物資班・施設管理班・保健衛生班・要援護者班などの避難所運営を行なう7つの「活動班」を組織し、体育館内の割り振り、仮設トイレの組み立て、生活用水の確保、避難者名簿の作成などに取り組んだ。

こうした避難所運営をテーマに取り組んだ自主防災隊の訓練は、市内で初めてのものです。

### 《訓練の様子》



近所の人と誘い合って避難開始

ヘルメットを被り、非常持ち出し品を持参します。



犬も訓練に参加し避難

犬などのペットも家族の一員なので、避難所では飼主によるペット管理が必要です。



避難所の泉小学校に集合  
町内会の方面隊毎に整列



泉自主防災隊の阿久津隊長が挨拶



建物応急危険度判定  
応急危険度判定士による建物の  
安全確認後、参加者は体育館の中



体育館の中の様子 1  
参加者は自治組織である「居住  
組」を組織し、避難所生活を支え  
る「活動班」を編成しました。  
長期の避難生活に必要なダンボ  
ール間仕切りも展示。



#### 体育館の中の様子 2

避難者名簿を作成し人員の把握をします。

10の居住区画毎に居住組を編成し各組は活動班員を出します。



#### 活動班の編成 1

班長のもと訓練活動について打合わせを行います。



#### 活動班の編成 2

今回の訓練では、本部長、副本部長、班長、組長は事前に選定しました。



#### 活動場所へ移動

活動班 100人は、活動場所へ移動し個別の訓練を行います。



#### 体育館での講座

体育館に残る居住組 200 人は、  
講座に参加しました。



#### 保健衛生班の活動

仮設トイレを組立てます。



#### 仮設トイレの組立

中学生も作業に参加しています。



#### 情報班の活動

掲示板を利用して各種の情報を  
伝達します。



#### 食料物資班の活動

炊き出し作業を行っています。



#### 食料物資班の活動

炊き上げたアルファ化米を配給  
します。



#### 避難所での食事

非常食のアルファ化米の味を  
体験します。



#### 物資運搬車

支援物資を自力で運搬する必要も  
予想されます。



支援物資の受入れと配布



救急隊員による負傷者搬送



特設公衆電話の位置と操作方法を確認しました。